

いわぬまぶんかざいつうしん 岩沼文化財通信



こぶん じだい 岩沼市マスコットキャラクター
☆岩沼の古墳時代とは…？ 岩沼係長

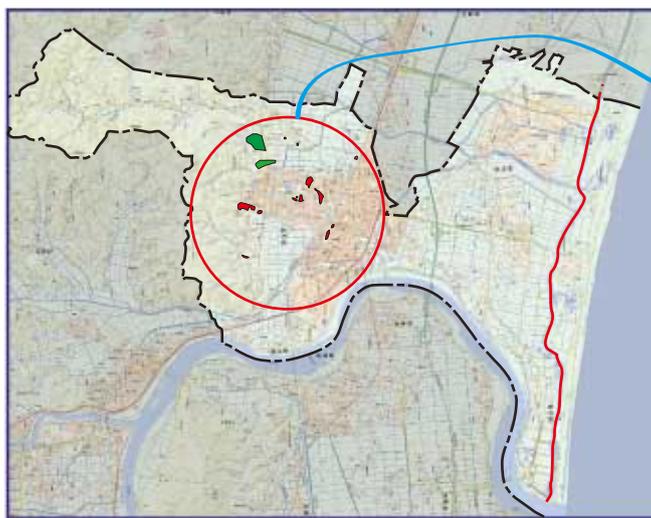
第 39 号

2025年 5月 9日 発行
岩沼市ふるさと展示室
(市民図書館2階)
TEL : 0223 - 25 - 2302

これまでの通信
はこちらから！



今回の通信では、古墳時代（3世紀おわり～7世紀おわり）*約1800年前から約400年の間の岩沼を紹介します。「古墳」とは有力者のお墓であると考えられており、種類や形も様々です。その他、この時代の岩沼の生活の特徴を、遺跡などを通してお伝えします。



● 古墳や、横穴墓群
● 集落跡 *図の場所以外にもあります

市の中央のあたりに多いですね。詳しくは、下の写真を見てください！



ひきこみよこあなぼくん どがさき
☆「引込横穴墓群」 土ヶ崎4丁目



おか しゃめん ほ
丘や山の斜面に穴を掘り、その中に人間を埋そうしたお墓です。
*穴の中は下の写真のようになっています。



つか
☆「かめ塚古墳」 亀塚



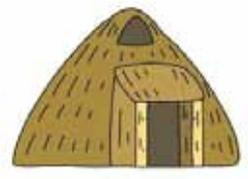
土を盛って周りよりも高くしたお墓です。上から見るとカギ穴のような形をしており、前方後円墳といえます。地域の有力者のお墓であると考えられており、日本全国に約4700基あると言われてます。

きたはら いせき ながおかあざきたはら
☆「北原遺跡」 長岡字北原



古墳時代から平安時代にかけて人々が集団で生活した集落の跡が見つかりました。中でも古墳時代の住居（竪穴住居）の跡が多く、広範囲に住居跡が重なるように見つかりました。近くにも同じ頃の住居跡が見つかり、この辺り一帯が大規模な集落であったことが分かりました。写真のような土器（土師器）も見つかりました。

☆「北原遺跡」の住居跡



*竪穴住居
地面に穴を掘り、柱を立てて屋根をかけた住居

ちようづか ながおかあざだい
☆「長塚古墳」 長岡字台



前方後円墳と同じように土を盛って周りよりも高くしたお墓です。写真のように丸い形に仕上げられており、円墳といえます。前方後円墳よりは規模が小さいですが、日本の古墳の種類では一番多い形です。

☆次回は古墳を種類ごとに分けて、デザインやどのような所に多くつくられたのかなど特徴を紹介していきます。

